

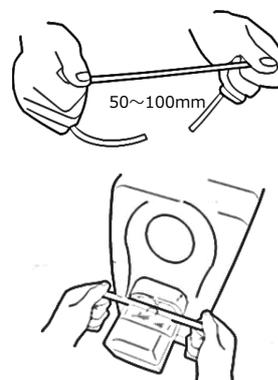
チューブシーラー KL-152 簡易マニュアル

準備

1. 電源インレットに電源コードを差し込んでください。ぐらつかないように、しっかりと差し込んでください。
2. 電源コードを電源に接続してください。
3. 電源スイッチを押してください。
4. 起動後、本装置が自己診断と自動校正を行います。
5. インジケータランプが緑色に点灯すれば、シールができる状態です。

チューブシール

1. チューブに“たるみ”ができないように、しっかりと持ってください。
2. チューブをもつ両手の幅は50mm~100mm程度としてください。
3. チューブに汚れや水滴の付着がないことを確認してください。
4. チューブをまっすぐ溝の中に入れてください。
 - ※ チューブをひっぱりすぎないように注意してください。
 - ※ 一度に複数のチューブをシールする行為は止めてください。
 - ※ 仕様上、電極部がスパークし、青白い光が発生する場合があります。
5. シール中はインジケータランプが赤に点灯します。
6. シールが完了するとランプが緑に点灯します。



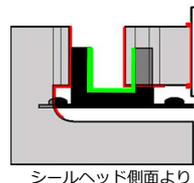
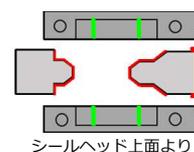
清掃

- シール時にチューブの内容物が漏れ出た場合や、シールヘッドに汚れが見られる場合、シールするときにアーク放電が起こる場合などは、シールヘッド、シールクランプを清掃してください。
- シールヘッド、クランプに汚れが付着したままにしておくと、アーク放電が生じるようになります。定期的に清掃してください。
- シールヘッド、クランプに汚れ等を付着したままにしておくと、付着した汚れが粘着・凝固し、正常に操作できなくなる場合があります。
- 清掃に水、中性洗剤、消毒用エタノール等を使用した場合は清掃後に完全に乾かしてください。

1. 清掃の前には必ず電源を切り、電源コードを外してください。
2. 外装部は、水や水で薄めた中性洗剤を布に含ませ、よくしぼってから清掃してください。
3. 電極部は、ヘッドカバーを外してからアルコール消毒剤を含ませた綿棒で清掃してください。
4. 外装部、電極部を乾いた布で拭き取り、ヘッドカバーを元通りに取り付けてください。

※ 使用したアルコール消毒剤は装置周辺に置かないでください。

- 図の赤線の部分の汚れはシール状態に影響が出やすいので、アルコールを浸み込ませた綿棒等で念入りに汚れを取り除いてください。
- 角に汚れがたまり易いので、角部分も清掃してください。
- 両脇の凹の字の部品はチューブの位置を確認するためのセンサーです。清掃の際、凹の字部分の内側（図の緑色）は傷つけたりしないように注意してください。



必ず取扱説明書の内容をご確認の上で、ご活用ください。